

# しべちゃ 議会 だより



— 住民のいそいの場「くるくるくるりん」 —  
(駅前)

第103号

平成28年8月1日発行

発行/標茶町議会  
編集/広報調査特別委員会  
電話/(015)485-2111  
住所/標茶町川上4丁目2番地

## 6月第2回定例会 (6月6日~8日)

平成28年度各会計予算を決定

一般会計で9,770万3千円の追加

一般質問 **町政を問う** 5名8件の質問

国民健康保険税 値上げ案否決

意見書8件 可決4件 否決4件

平成27年度補正予算承認

第1回臨時会 (5月17日)

第二回定例会

平成二十八年

補正予算可決

一般会計補正予算

9,770万3千円の追加

- ・ 国保会計へ 7,500万円繰り出し
- ・ 標津線代替協議会負担金 281万円
- ・ 農業振興費 705万円
- ・ 社会教育費、郷土館費 500万円など

国保事業会計 388万6千円の追加

※ 一般会計から7,500万円繰り入れをし、国保税の負担増を抑えました。

報告

報告第7号

専決処分した事件の承認について

平成27年度の会計が3月末で終了したのに伴い、3月31日付けの補正予算が報告され、議会はこれを承認しました。

これにより27年度一般会計の歳入歳出予算の総額は、122億6,458万円となりました。

報告第8号

同じく国民健康保険特別会計補正予算が報告され、歳入歳出予算の総額14億6万円を承認しました。

報告第9号

同じく介護保険事業特別会計補正予算が報告され、保険事業勘定歳入歳出予算の総額8億8,295万8千円、介護サービス事業勘定歳入歳出予算の総額5億584万2千円を承認しました。

報告第10号

繰越明許費繰越計算書の調製について

・ 情報セキュリティ強化対策事業

・ 北海道釧路地域・東京特別区交流推進事業  
432万8千円

・ 道営草地整備事業負担金（標茶西地区）  
1,800万円

・ 小学校耐震事業 1,625万4千円

・ 中学校耐震事業 1,925万7千円

がそれぞれ翌年度繰越として報告され、議会はこれを承認しました。

用語の部屋：繰越明許費とは

※ 予算が成立して事業を執行する中で、その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるものです。

議案

議案第27号、第28号、第29号は、北海道市町村職員退職手当組合規約、北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約および北海道市町村総合事務組合規約の文言整理と、「北空知学校給食組合」を北空知圏学校給食組合が昨年設立されたことにより、規約から削るもので、議会はこれを可決しました。



町立病院内科待合室前での問診のあり方について

後藤 勲 議員

町長 個人情報を守ることに関心を配っていききたい

一般質問

町政を問う



**問** 内科受付前での問診は、待つている方も聞かされてる方もあまり良い感じではなく、特に高齢者も多く大きな声で聞き取りをしているのをよく見かけますが、個人情報や秘密保護の関係から、隣にある、前に婦人科の針治療に使用していた部屋を利用して、個人個人に応じ聞き取りをしてはどうか。

**答** 患者の個人情報やプライバシーを守る観点は重要であり、意を配すべき事項と認識をしている。現状、希望された患者と看護師がその内容により別な場所での問診が必要と判断した患者さんについては、産婦人科や小児科の空き室を使用して聞き取りを行っている。また、身体状況により外来受付まで移動が困難な方については、看護師が席に出向き問診を行っている。すべての患者を別室で聞き取りすることは、看護師の配置に限りがあることと、移動することににより待ち時間が長くなり結果的に負担が増すことも考えられる。しかしながら、患者の意思を尊重するとともに、状況を的確に判断し患者の個人情報やプライバシーを守ることに意を配していきたい。

**問** 産婦人科は週に二回ほど診察があり、延べ人数は60〜70人ほどが受診している。産婦人科外来は、女性に限っていく所ではあるが、受診するため内科待合室にいる人たちの前を通って産婦人科の方へ行かなければならない。それが非常に恥ずかしいという意見が多いので、何か改善することができないか。

例えば、内科待合室の前に、顔が見えない程度のついたてを立ててはどうか。

その他の一般質問

後藤 勲 議員

婦人科外来に行く通路の改善は出来ないか

**答** 他の診療科目の場所と入れかえることができないかとの点については、内科の待合室前を通らないラインはなく、産婦人科外来がある日は産婦人科待合室に入らないようついたてを立てている。内科の待合室は奥まったところにあるのでついたての効果はあると考える。

内科待合室前のついたては好ましくないと判断し、今のところ考えていない。



町立病院の産婦人科までの通路

**問** 障がいの早期発見と適切な対応について、標茶町はどのような取り組みを行ってきたか。

身体障害者手帳の交付とならず、軽度・中等度難聴児で助成が行われていない子どもたちの実態調査を行い、的確に現状を把握すべきと考えられているか。

迪 議員 深見

軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入助成の実施を町長 実施については前向きに検討する

北海道は、平成27年度から18歳未満で身体障害者手帳が交付されていない軽度・中等度難聴児に対する補聴器助成制度を実施している。町でもこの助成制度を活用し、聴覚に障がいのある子どもたちが健全な発育をするよう早期に支援を行ってどうか。

すでに実施している市町村では、補聴器購入のための助成だけでなく、修理費用についても助成の対象としている。本町でも実施に踏み切った場合修理費用も対象とすべきではないか。

北海道は、補聴器助

成を18歳未満としているが、これを標茶町として条件に応じて18歳以上にまで拡大するつもりはないか。

**答** 本町では、保健福祉課、子ども発達支援センター、子育て支援センターのみならず関係する専門機関との連携により対応している。

軽度・中等度難聴児で助成が行われていない子どもたちの実態調査については、実態の把握に努めている。昨年度より北海道が実施している上記の助成制度を活用した早期の支援については、どのような方が支援を必要としている児童にとつてよりよい支援制度になるかを前向きに検討していく。



補聴器

その他の「一般質問」

深見 迪 議員

「全国学力・学習状況調査」には健全な発達を阻害する要因はないか

**問** 「全国学力・学習状況調査」対策として、教育局からの豆テスト、CRTの使用、過去問題による練習など学校現場で実施している事実はないか。

土曜日や長期休暇中の登校による学習の実施など、学力偏重の実態はないか。このことに対する子どもや保護者の意見は、寄せられていないか。4月19日馳浩文部科学大臣は記者会見で「子どもたちに対し気を付ける配慮」について述べたが、これをどのようにとらえるか。

道教委は、平成28年度にすべての教科で全国平均以上となるよう学力向上の取り組みを推進していく方針を掲げているが問題ではないか。

**答** 豆テスト、CRT、道チャレンジテスト、過去問題などは活用しているが、学力テストの点数アップを目的にだけしているのではない。ただ、現場での大変さは確かである。

これらは、各学校の教育課程の中で独自に準備されたものでないという点では、プラスアルファという印象があるかもしれないが、各学校でそうしないように位置付けて行われている。長期休業中の学習は、全校で実施している。保護者からおおむね理解を得ていると考えている。

馳文科大臣の学力テストについての注意については授業改善や児童とのコミュニケーションの時間は割いている。

道教委は全国の順位を上げることが確かに言っているが本町では取捨選択してやっている。



農畜産物加工処理施設を農協と連携し拡充を

渡邊 定之 議員

町長 JA の出した結論に応じ考えていく

標茶町で生産した牛肉や牛乳を活用したこれらの活動は、今後の標茶のまちづくりや基幹産業である酪農を支える大きな取り組みと考える。本町がJAしべちゃと連携し、施設の改修や新設も視野に入れ、幅広く町民町外の人々が参加できるように農畜産物加工処理施設の拡充を考えてはどうか。

**問** JAしべちゃでは農畜産物処理加工施設で加工した、牛肉の大豆、水煮、ミートソースなど「JAしべちゃ特産品」を販売し好評を得ている。この取り組みについての町長の評価、所見を伺う。

さらに、この加工施設では、少ない一般町民が参加し好評を得、消費者と生産者との結びつきや意識向上、生産者自ら加工に係る場としての価値は高く、まちづくりの一助となっていると思うが、その利用の状況を含めて町長の所見を伺う。



農畜産物処理加工施設ソーセージ作り

**答** 加工品は、手軽な美用品、贈答品としてまた、町のPRとしても評価している。

施設の役割については、販売向け以外の一般利用は100%の稼働率となっていて、生産者と消費者の結びつきや意識向上、地域会、女性部等各种団体等が畜産加工を体験する場として貴重な施設である。

施設については現在JAが、新築が改築の検討方針を示している。経済団体の出した結論に応じ必要な支援策を講ずべきと考えていく。

その他の一般質問

渡邊 定之 議員

子育てサポートセンターの活動を活発にし、働く親の更なる応援を

**問** 本町に発足した「子育てサポートセンターまーぶる」に登録されている人数や活動実績について伺う。

また、「子育てサポートセンターまーぶる」の存在を知らない町民がいるように思うが、周知方法はどのように行ってきたのか伺う。

親たちが働く各職場に向けて、「子育てサポートセンターまーぶる」の活用を促すリーフレットなどの発行、職場の責任者に対するレクチャーなど、制度の有効な活用が行われるようにすべきと考えるがどうか。



**答** 安心して子供を育てることができる環境づくりを推進することとは重要である。提供会員8名、依頼会員5名で昨年10月にスタートし、過去2回利用された。周知については、様々な場所や場面で行ってきた。今後の更なる周知については、制度の有効活用を含め、子育てサポート事業を地域に根ざした活用となるよう社会福祉協議会と連携を取りながら、より効果的なものとなるよう進めていきたい。



**問**

障害者差別解消法が本年4月1日から施行されました。この法は障がいのある人、身体、知的、精神等あらゆる障がい者に対する不当な差別的取扱いを禁止し、市町村等の役所など行政機関に法的義務を、民間企業等に努力義務を課し、障がい者が社会生活に不都合を感じないように合理的配慮の提供を求めています。

鈴木 裕美 議員

障害者差別解消法の理解を求めるための手立てはないか

町長 法の趣旨にのっとり対応する

障がいのある人が社会の中にあるバリアによって生活がしづらい場合があったらそのバリアを取り除くための何らかの対応を必要としていると意志が伝えられたとき、道や市町村等役所で働く人が適切に対応するため具体例を盛り込んだ「対応要領」を作成することに努めることとされたが本町でも作るべきと考えるがいかがか。更に障がいのある人が困ったことがあった場合、地域の身近な相談を受け付ける窓口で相談がで

きるような体制づくりができることとされているが、障害者差別解消支援地域協議会の設置等すべきと考え

る。協議会の有・無は地域の人権意識を示すバロメーターと言われている。是非、協議会の設置をすべきと考えるがいかがか。



北海道のパンフレットより

**答**

法律の制度を受けて法の趣旨にのっとり標茶町役場の対応要領は作成していく。

障がい者差別解消支援普及啓発パンフレット等は、窓口や各公民館の情報コーナーに配置しているが、更に広報しべちゃやホームページ等に活用し法の趣旨の啓発に努めていく。

障がい者の相談業務の窓口の一つとして地域活動支援センター内に相談窓口が開設している。既存の会議体に機能を付加する事は社会福祉施策検討委員会を活用して対応していく。

**問**

本町内で建設が予定されている食肉加工センターは、酪農家の経営には必要不可欠なものである。本町は、平成29年度の事業採択に向け、完成までの予定表も策定しているところであり、課題を速やかに解決し一日も早く施設が完成することを求め、2点について伺う。

櫻井 一隆 議員

食肉加工センター建設の見通しは

町長 課題解決に向けて努力をする

一、建設予定の下流の漁業協同組合から、排水処理に対して認め難いとの意見書が届いたと聞いているが、どのような主張なのか伺う。

二、現在考えている排水処理が認められないと言った場合、今後の整備検討委員会と本町の対応を聞きたい。

**答**

下流域関係者との話し合いに必要は、慎重に進める必要があるとの考えで進めているが、同意に向けた話し合いが難航し、建設予定地の決定に

至っていない。

1点目については、今年1月から実施した地質調査について報告をした。去る5月16日付で根釧と畜場、食肉加工施設整備検討委員長宛に意見書の提出があり、内容は、場所の再検討を含め、抜本的な計画の見直しを要望してきた。

2点目については、根釧と畜場、食肉加工施設整備検討委員会として今後の対応方針や推進方を決定していく。建設予定地の確定を含め、課題解決に向け作業を急ぐことが重要と考えている。

食肉加工センターは根釧の酪農畜産業にとって絶対に必要であるという考えに変わりはない。

**標茶町議会**

**熊本地震にお見舞い**

4月14日以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震の被害により亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げ、また、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

標茶町議会は、5月の第一回臨時会で一日も早い復興を祈って議員全員による災害義援金を送りました。

予算審査特別委員会

# 総括質疑

熊谷 善行 議員

**問** 平成27年度の子育て応援給付金の効果と評価について聞く。

**答** 現金の支給については、多くの町民に喜ばれている。

アンケートの中で「半分以上が貯蓄に回っている」と回答されたのは、今後の子育てのことを想定しながらと考えている。

櫻井 一隆 議員

**問** 食材供給センターを改修して郷土館の展示施設にすることについて設計図はできているのか。身体障がい者の対応は考えているか。

**答** レイアウトについては現在協議中であるが二階を展示施設にする構想である。

障がい者用対策として、簡易エレベータの設置を考えている。

議案第30号

「標茶町国民健康保険  
税条例の一部改正」案  
が否決

今年度の国保加入者の所得が全体として、増えたことにより国からの交付金等が減額され、その結果、本年度の国保会計に1億536万円の不足額が予測されました。この不足額のうち7,500万円は一般会計から繰り入れるが、なお不足する分3,036万円を国保加入者に負担してもらおうというものです。

これにより、国保税が現行から平均9.2%が引き上げられるという内容の提案でしたが、議会はこれを否決し、国保税は現行どおりとなりました。

反対討論 本多 耕平 議員

標茶町国民健康保険条例一部改正条例制度に私は反対の立場で意見を述べます。

先般の議員協議会に於いて国民健康保険事業28年度の収支バランス見通しがマイナスであり一般財源からのルール外補てんには限界があり相互扶助の立場から条例の一部を改正し安定した保険事業との説明提示がなされた。

町民の命を守る最も大事な行政としての事業であり健全な事業運営を願う事は全ての町民が思い願っている事であるが今回の提案のあり方更に平成27年度の保険事業専決を5月の臨時会で可決しましたが、ここに至るまでの事務手続きに問題があるとは言え28年度の事業会計見通しは事前に予想されなければならぬ公平な税負担とは言え、打開策として税改正による負担しかないのかもつと議論をすべきと思う。

28年度事業会計見通し30年には広域化を考える時又町民に事業内容を理解してもらおう為にも税改正ありきではなく十分な討議、検討すべきと考える。

反対討論 深見 迪 議員

今回の国保税の改定1億536万円の税収不足の試算に基づいて提案されたものです。この不足額に対し、一般会計からの7,500万円の繰り入れは高く評価致します。

しかしなお不足する分3,036万円について国保税の住民負担が増額するという案は家計を大きく圧迫する結果となります。

町のシュミレーションを見ても、年収約320万円の4人家族では、所得階級250万円以下の世帯になり、年間25,683円、月にして2,140円の負担増となります。本町には、備荒資金26億円を超える超過積み立て分、財政調整基金約18億円を合わせると約44億円超の積立金があります。この約0.7%を使えば値上げしなくても十分間に合います。

国保は、住民の医療を守る最後の社会的セイフティーネットです。

そもそも国保税がこれほどの重い負担となっているのは、政府が国庫支出金を大幅に減らしたことにあります。この復元を政府に強く求めることが必要であることを付け加えて、私の反対討論いたします。

議案第30号  
「標茶町国民健康保険  
税条例の一部を改正す  
る条例の制定」に  
対する  
反対討論

意見書

次の四件の意見書が可決され、国及び道の関係機関に送付されました。

◆意見書第八号  
TPP協定の調印・批准しないことを求める意見書

TPP「大筋合意」の詳細の速やかな開示と協定の調印・批准を行わないことを求めたものです。

◆意見書第九号  
「北海道観光振興特別措置法」の早期制定を求める意見書

北海道の観光産業の振興が地域活性化の大きな柱であるとして、財政上、税制上の特別措置を盛り込んだ「北海道観光振興特別措置法」の早期制定を求めたものです。

◆意見書第十号  
医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書

国民と医療機関に不合理な負担を生じさせている医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求めたものです。

◆意見書第十二号  
道教委「高校教育に関する指針」の見直しと豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

地域に高校を存続させ、希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障していくことを求めたものです。

次の四件の意見書が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆意見書第七号  
南スーダンへの派遣自衛隊の撤収を求める意見書

◆意見書第十一号  
平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(千円をめぐす)

◆意見書第十二号  
義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書

◆意見書第十四号  
地方財政の充実・強化を求める意見書

意見書案第八号についての賛成討論

渡邊 定之 議員

私は、議案第八号「TPP協定の調印・批准しないことを求める意見書」に賛成し討論を行います。安倍政権により、TPPの承認案と関連一括法案が閣議決定、国会提出をされました。TPPは「Xや牛肉などの農産物を含め関税を原則として撤廃、輸入を拡大することともに、食の安全、著作権、雇用、医療などあらゆる分野で多国籍大企業の利益を最大限に確保するため国民を犠牲にするルールを押し付けるものです。とりわけ「SD」条項は、環境、健康、地域経済などを守る国内ルールを一企業が「利潤拡大」を阻害したとして、国家、自治体を訴え、巨額の賠償金、制度改変を迫るといつ、まさに国家主権を売り渡す、反国民的協定と言わなければなりません。国民にも国会議員にすら情報開示せず、国会決議に違反した協定は国会の責任で批准を拒否し、関連一括法案も廃案にすべきであります。

今、農家だけでなく消費者の間にも不安と困惑が急速に広がっています。牛業が壊れ、地域が崩壊してしまつ「TPP協定の調印・批准にストップをかけ、地域経済・農業と暮らしを守ることを願い、かつてオール北海道で反対したことを強く思い賛成討論とします。

平成28年第2回定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井 一隆	後藤 勲	熊谷 善行	深見 迪	黒沼 俊幸	松下 哲也	川村多美男	渡邊 定之	鈴木 裕美	平川 昌昭	本多 耕平	菊地 誠道	館田 賢治	結果
議案等の内容														
議案第30号 標茶町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		原案否決
意見書案第7号 南スーダンへの派遣自衛隊の撤収を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第11号 平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第12号 義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第14号 地方財政の充実・強化を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)



## 第二回臨時会

(5月17日)

第一回臨時会では、5件の専決処分報告と、1件の議案が提案され、いずれも承認、可決されました。

### 専決処分

#### ◆報告第2号

「標茶町税条例等の一部を改正する条例」

『独立行政法人労働者健康福祉機構』を『独立行政法人労働者健康安全機構』に改めるなどです。

#### ◆報告第3号

「標茶町国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

基礎課税額上限52万円を54万円に、後期高齢者支援金等課税額上限17万円を19万円に改めたものです。

#### ◆報告第4号

「行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例」

行政不服審査法の改正に伴って、審査の申し出の日程について改正したものです。

#### ◆報告第5号、第6号

二月八日に発生した自動車事故の損害賠償額179万5,016円について報告されました。

### 議案第26号

工事請負契約の締結について

「標茶町一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設建設工事」について、指名競争入札を行った結果、3億6,828万円で契約が締結されました。契約の相手方は、クボタ環境サービス株式会社です。

### 総務経済委員会 所管事務調査報告

#### ○調査日時

平成28年5月18日

#### ○調査場所

標茶町役場議員室

#### 1. 調査事項

6次産業化に向けた本町の現状について

#### 2. 出席者

本多委員長、櫻井副委員長、黒沼委員、松下委員、渡邊委員、館田委員

説明員 牛崎農林課長、多津美農業企画係長、事務局 佐藤事務局長、中島事務局次長

#### 3. 調査の経過及び内容

- ① 6次産業化の推進について農林水産省資料に基づき説明を受ける。
- ② 本町のそして他町村の6次産業化に向けた現状、取り組みの説明を受ける。

#### 4. 委員会の所見

近年、特にTPP問題が浮上以来、6次産業化が1次産業の中でクローズアップされている。付加価値を高める産業構造の転換政策として国も様々な支援施策を打ち出している。本委員会は、標茶町としてその実態と今後の行政の役割を知りたく調査を行った。本町はJAしべちゃ農畜産物加工センターが平成元年に開設以来5件の事業者が事業展開している。

一村一品運動から発展してきた6次産業化は、間口は広いが「敷居」が高いと言われる様に全ての農家が気軽に取り組める事業ではないと理解する。趣味の事

業ではなく企業としての経営を考えると様々な諸問題があり、標茶独自の特性を生かすためには行政は個々への支援を強化することが現時点では最も必要であると考える。

### 厚生文教委員会 所管事務調査報告

#### ○調査日時

平成28年5月17日

#### ○調査場所

標茶町役場議員室

#### 1. 調査事項

町立病院の現状と改革プランについて

#### 3. 調査の経過及び内容

資料に基づき、町立病院の現状・町立病院医療懇談会の開催結果報告・地方公営企業会計制度の改正点・新公立病院改革プラン等について説明を受けた。

- ・平成28年4月1日現在の診療科目、病床数、医師の状況
- ・診療体制、職員数、並びに平成28年3月31日現在の診療状況、入院患者及び外来患者数についての説明。
- ・医療懇談会の開催結果は

5件の質問と回答、12件の参加者の意見について説明がなされ、要望としては、①病院の状況を理解するためにも各地域で不定期でも懇談会の開催をして欲しい。

②会計時間の改善をして欲しい。

など。

・地方公営企業会計制度の改正は、条例を改正して制度に従って行っている。

・新公立病院の改革プランについては、「公立病院改革ガイドライン」により進めているが平成28年11月までに素案の策定を行う。

#### ◆委員会所見

・町立病院の在り方について、もっと町ぐるみで議論する場を設けてはどうか。

・町立病院の改革プランについて、医師の確保・救急体制の維持・ベッド数の確保をする方向は、町立病院の体制として守ることが必要である。

・空きベッドやスペースも含めて、高齢者介護施設として活用する方向を追求することも今後の重要な課題である。

第二回定例会 議事日程から

五月十六日	議会運営委員会
五月十七日	第1回臨時会
五月十七日	厚生文教委員会所管事務調査
五月十八日	総務経済委員会所管事務調査
五月二十六日	釧路北部消防事務組合議会
五月二十九日	全国町村議会議長会議 ・副議長研修会
五月三十一日	議会運営委員会
六月二日	議会運営委員会
六月六日	第2回定例会
六月六日	全員協議会
六月六日	議会運営委員会
六月六日	総務経済委員会
六月七日	厚生文教委員会
六月七日	議会運営委員会
六月二十七日	広報調査特別委員会
七月四日	広報調査特別委員会
七月七日	広報調査特別委員会



地域住民の憩いの場「くるくるるりん」(駅前)

編集後記

平成二十八年第二回定例会は六日から八日までの三日間の会期で、五名の議員が一般質問を行い理事者との活発な議論が交わされました。

道市町村総合事務組合規約の変更に関する議案三件を可決、専決処分三件、繰越明許費繰越計算書調製を承認しました。

「標茶町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案の制定」については議員から「一年程度、現在の税率でいき、その時点で判断すべきだ」、「低所得者に配慮すべきだ」等の反対意見が多く採決の結果、否決されました。

平成二十八年年度補正予算案は社会福祉総務費繰出金7,500万円、社会教育費設計委託料500万円等、総額9,770万3千円が提案され、可決しました。

意見書案8件中4件が可決、4件が否決されました。

昨年、六名が広報委員となり本年六月で満一年を迎えました、今後「議会だより」の充実に向け努力して参ります。ご意見ご要望が有りましたら広報委員会までお知らせ下さい。

(文責 川村多美男)